

透析中に地震・停電が発生した 場合の行動、対応について

2026年7月26日（日）

臨床工学技士

杭野隆弘

今回の目的

- ・透析中に地震や停電が発生した際、スタッフがどのような行動、対応を行うかについてご説明いたします。

透析中に停電が発生した場合①

～スタッフの行動・対応～

- ・各スタッフが携帯しているアクションカードの内容に従い行動、対応を行います。
- ・スタッフは皆様に声掛けを行い不安軽減に努めます。治療終了準備も併せて行います。

透析中に停電が発生した場合②

～透析の機械は？～

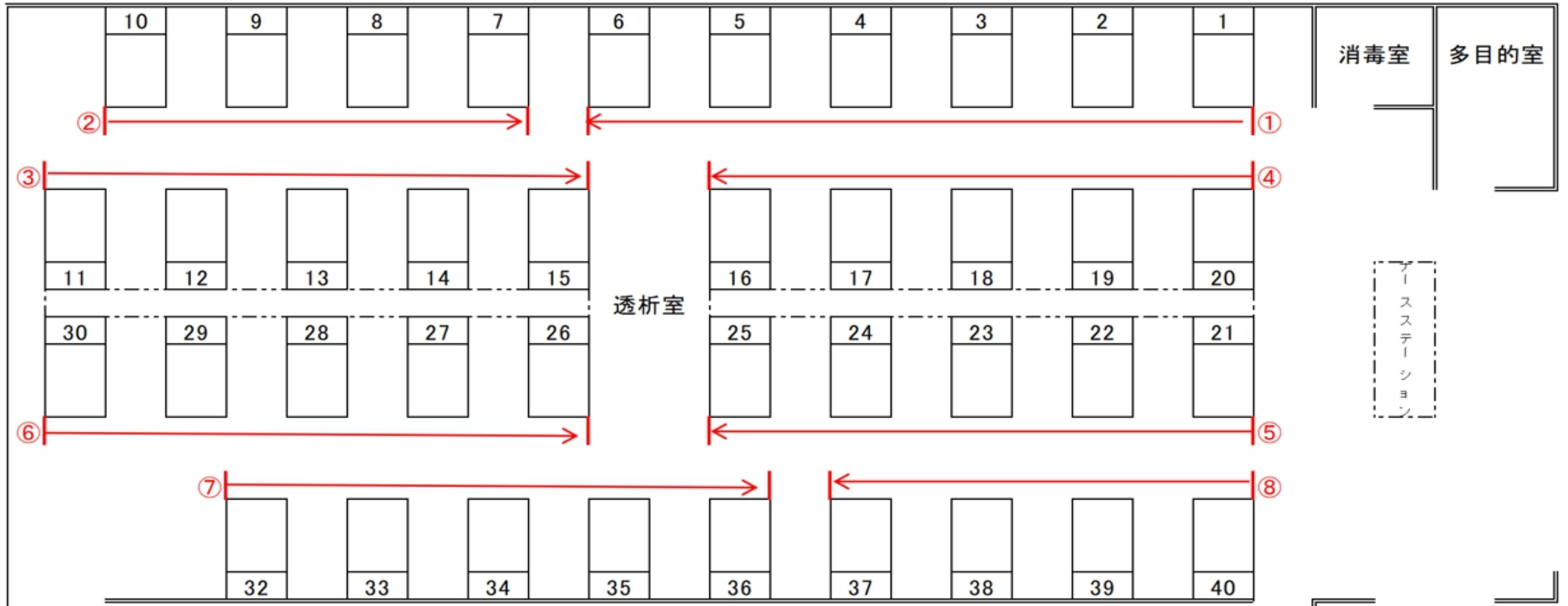
- ・ 透析の機械はバッテリー運転に自動で切り替わりますが、透析や除水は行っていません。
- ・ 血液が固まらない様、血液ポンプのみ動いている状態になっています。

透析中に地震が発生した場合

- ・各スタッフが携帯しているアクションカードの内容に従い対応を行います。
 - ・スタッフは皆様に声掛けを行い不安軽減に努めます。
- 又、心身状態の観察も行い異常発見時には早急に対応します。緊急離脱準備も併せて行います。

＊緊急離脱～災害発生時、透析中のすべての患者様に対して透析を中止し、一刻も早くベッドから離脱させ避難させること。

緊急離脱時のスタッフの動線



大地震発生時、早く避難したい
→緊急離脱、避難の順番は必ず回って来ます。

地震の規模による治療継続の判断①

～宮崎市が震度5弱以下の場合～

- ・ 院内の被災状況を確認し、電気・水道等透析治療に影響が無いと判断された場合、原則として透析治療は継続して行います。

* 2024年4月8日午前10時頃日南市で震度5弱の地震発生するも、日南市全透析施設での被災は無く、透析治療も中断せず行った。

* 気分が悪い、不安が強い等ある場合は申し出て下さい。

地震の規模による治療継続の判断②

～宮崎市が震度5強以上の場合～

- ・ 院長先生より緊急離脱指示が発令され、速やかにベッドから離脱し指定された避難場所へ移動します。避難は、原則として自力で移動可能な患者様から順に行っていただきます。車椅子をご利用の方や杖歩行の方など、介助が必要な患者様については、スタッフが付き添って安全に移動します（訓練時も同様の流れ）。
- ・ 津波の発生が懸念される場合には、随時情報を収集しながら、状況に応じて適切な対応を行います。

地震・停電時のスタッフ対応まとめ

1. 基本対応

- スタッフは携帯しているアクションカードに従って行動。
- 患者様への声かけを積極的に行い、不安軽減に努める。
- 治療終了準備や緊急離脱準備も並行して実施。
- 心身状態の観察を行い、異常があれば迅速に対応。

2. 停電時の透析装置の動作

- 装置は自動でバッテリー運転に切り替わる。
- 停電中は透析・除水は行われず、血液ポンプのみ動いている状態。

地震・停電時のスタッフ対応まとめ

3. 治療継続の判断

- ・院内の被災状況（電気・水道など）を確認。
- ・透析治療に支障がないと判断された場合は、原則として治療を継続。

4. 緊急離脱・避難対応

- ・緊急離脱指示が出た場合は、速やかに透析を中止し離脱を行い、指定避難場所へ移動（当院屋上の可能性も有）。
- ・自力で移動可能な患者様から避難。
- ・介助が必要な方（車椅子・杖歩行など）はスタッフが付き添い、安全に移動。

5. 津波など二次災害への対応

- ・随時情報収集を行い、状況に応じて適切な対応を実施。

最後に

- ・皆様が安心して治療を受けられるよう、今後もスタッフ一同努めてまいります。
- ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。